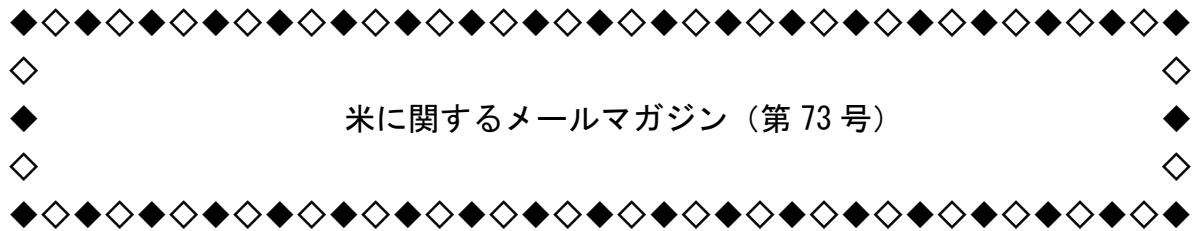


令和2年4月13日発行



米に関するメールマガジン（第73号）

皆様、こんにちは。農林水産省政策統括官（米政策の担当部局）です。いつもメルマガをお読みいただきありがとうございます。令和2年度もよろしくお願ひします。

このメルマガは、生産者や集荷業者・団体の主体的な経営判断や販売戦略に基づき、需要に応じた米生産ができるよう環境整備を進めていく一環として、需給・価格情報、販売進捗・在庫情報等をきめ細かく提供しようと毎月配信しています。

ぜひ最後までお読みください！

□ 新型コロナウイルス感染症への対応に関して、農林水産省のホームページで情報を発信しています（情報は随時更新されます）。

[https://www.maff.go.jp/j/saigai/n\\_coronavirus/index.html](https://www.maff.go.jp/j/saigai/n_coronavirus/index.html)

---

【本号のトピック】

- ・ 令和2年産米等の作付意向について
- ・ 「米取引の事前契約研究会」中間とりまとめ
- ・ 「食料・農業・農村政策審議会 食糧部会」について
- ・ 今月の「やっぱりごはんでしょ！」Facebook（更新情報）
- ・ 編集後記

---

★ 「令和2年産米等の作付意向（第1回中間的取組状況）」について ★

都道府県別の2月末現在の作付意向を公表しました。各産地・生産者が、今回の公表結果を参考に、需要に応じた生産・販売に向けた取組をより一層進めていただきますようお願いいたします。

【概要】

(1) 各都道府県の主食用米の作付意向（令和元年産実績との比較）

増加傾向 0 県／前年並み傾向 41 県／減少傾向 6 県

(2) 各都道府県の戦略作物等の作付意向（同）

○備蓄米

増加傾向 14 県／前年並み傾向 14 県／減少傾向 5 県

○加工用米

増加傾向 18 県／前年並み傾向 20 県／減少傾向 6 県

○飼料用米

増加傾向 13 県／前年並み傾向 22 県／減少傾向 10 県

○ WCS 用稲（稲発酵粗飼料用稲）

増加傾向 10 県／前年並み傾向 24 県／減少傾向 9 県

○ 米粉用米

増加傾向 14 県／前年並み傾向 22 県／減少傾向 10 県

○ 新市場開拓用米（輸出用米等）

増加傾向 22 県／前年並み傾向 9 県／減少傾向 3 県

○ 麦

増加傾向 13 県／前年並み傾向 22 県／減少傾向 10 県

○ 大豆

増加傾向 15 県／前年並み傾向 21 県／減少傾向 9 県

（詳しくはこちらから）

→ [https://www.maff.go.jp/j/press/seisaku\\_tokatu/s\\_taisaku/attach/pdf/200326-2.pdf](https://www.maff.go.jp/j/press/seisaku_tokatu/s_taisaku/attach/pdf/200326-2.pdf)

★ 中間取りまとめを行いました～米取引の事前契約研究会 ★

前号でもお伝えしましたが、農林水産省では、主食用米について、「播種前」、「複数年」などの事前契約に基づく取引の拡大を図るため、そのあるべき内容などについて研究・検討を行う「米取引の事前契約研究会」を1月からスタート。先月開催した第4回会合での議論を踏まえ、研究会としての「中間取りまとめ」を作成しました。全4回の概要等と併せて資料をホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。特に産地の皆様方に、事前契約の重要性をご理解いただきたく、パンフレットや契約書の例も作りました。合わせてご参照ください！

（詳しくはこちらから）

→ <https://www.maff.go.jp/j/syouan/keikaku/soukatu/jizenn.html>

★ 麦の需給見通し・米粉等の基本方針を策定～「食料・農業・農村政策審議会 食糧部会」 ★

令和2年3月31日（火曜日）、「食料・農業・農村政策審議会食糧部会」が開催されました（今回は新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、書面による「持ち回り開催」とし、会議はありませんでした）。

令和2年度の「麦の需給に関する見通し」の策定、「米穀の新用途への利用の促進に関する基本方針」の策定及び「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」の変更について、了承されました。

米の「基本指針」では、

(1) 令和元年産主食用米等生産量を予想収穫量（727万トン）から確定収穫量（726

万トン)に変更(▲1万トン)

(2) (1)及び台風被害を反映し、令和2年6月末民間在庫量を189万トンから187万トンに変更(▲2万トン)

(3) (2)により、令和2年産生産量の見通し及び令和3年6月末民間在庫量を変更しています。

(詳細はこちらから)

→ <https://www.maff.go.jp/j/council/seisaku/syokuryo/200331/index.html#02>

★ 今月の「やっぱりごはんでしょ！」Facebook(更新情報)★

農林水産省の米担当者が広報チームをつくり、「米の消費拡大」のために様々な情報発信をしています。新年度もぜひご覧ください。また、周りの方にもご紹介ください。

(Facebookはこちらから) → <https://www.facebook.com/maffgohan> (外部リンク)

最近Facebookにアップされた情報を1つご紹介します。

【今のお米の消費はどうなっているのか?~アンケート調査を実施してみました】

日本人のお米の消費量を見てみると、昭和37年頃は1日当たりお茶碗で5杯近く食べていたのですが、現在はその半分以下の2杯になってしまっています…。

お米をいっぱい食べてもらいたい私たちは、消費者の皆さんにインターネットアンケートを先日行いました。その特徴的な結果は、

(1)若い方々でお米の消費が減っている一番の理由は、「炊飯する時間がなくなった」

→ 1人暮らしで忙しいとそうなりますよね…でも、最近では簡単においしく食べられる冷凍チャーハンやパックご飯、さらには洗い物もなく食べられる冷凍ピラフなど、忙しくても簡単に食べられるお米食品がありますよ!!

(2)糖質ダイエットで減らす主食は、ごはんが圧倒的…

→ 同じ主食なのに、なぜパンではないのでしょうか…もっとパンを食べないようにしてほしいということではなく、「糖質=ごはん=ダイエットの敵」と思われていることが悲しいです。ごはんは健康にもいいのですよ!

※このアンケート調査結果の全体版は、先ほどの食糧部会の配布資料として公表しています。

<https://www.maff.go.jp/j/council/seisaku/syokuryo/200331/attach/pdf/index-14.pdf>

★ 「米に関するメールマガジン」のアンケートを実施しています ★

読者の皆さまにより有益な情報配信ができるよう、「米に関するメールマガジン」のアンケートを実施しています。今後、米に関するメールマガジンで取り上げてほしい内容、メールマガジンに対するご意見ご感想等を募集しておりますので、宜しく願い致します。

(回答はこちらから→)

[https://www.contactus.maff.go.jp/j/form/seisaku\\_tokatu/kikaku/160815.html](https://www.contactus.maff.go.jp/j/form/seisaku_tokatu/kikaku/160815.html)

【編集後記】～はじめまして！～

新年度、人事異動に伴い、今回から編集担当者がMからYに変わりました。前任Mに引き続き、お米に関する様々な情報を発信していきたいと思いますので、よろしくお願い致します！

新型コロナウイルス感染症の拡大による暗いニュースが多いですが、そんな中、個人的に嬉しいニュースは、先日、甥っ子が産まれたことです！両親も初孫ということで大変喜んでいました。今は旅行にも行けませんが、状況が落ち着いたらもちろん会いに行きたいと思います。1日も早く平穏な日々が戻ることを願います。そのときのために、健康第一ということで、しっかりご飯を食べて頑張ります！

□「やっぱりごはんでしょ！」HP ご覧ください！

|| <https://www.maff.go.jp/j/syouan/keikaku/soukatu/gohan.html>

└.....☆

★★ 米に関するマンスリーレポートはこちら！ ★★

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/mr.html>

4月号の巻頭特集は食料・農業・農村基本計画(抜粋)、米取引の事前契約研究会中間取りまとめ、令和2年産米等の作付意向についてまとめています。

なお、今月号からマンスリーレポートはより読みやすくするため、トピック毎にページを分けるなど、編集を大幅に変更しております！